

資産運用レポート：人気資産価格モデル（PAPM）

1 はじめに

投資家は、ブランド力を持っている企業、競争優位を備えている企業、世間の評判が高い企業の株をこぞって買おうとします。

ゆえに、ブルーチップ（優良企業）は投資家の中で常に人気があり、株価に相応のプレミアムが付けられていることも珍しくありません。

果たして、そんな銘柄を買って儲かるのでしょうか。

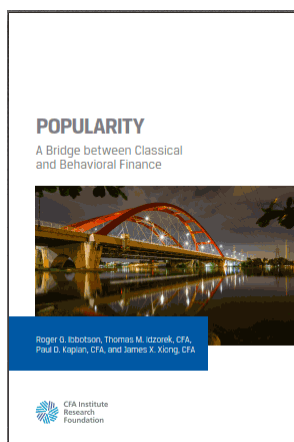
現に、コントラリアン（逆張り投資家）が多数を占めるバリュー投資の世界では、はるか昔から「人気株には手を出すな」と口を酸っぱくして言われてきました。

しかしながら「割高な人気株はさらに買われ、割安な不人気株はさらに売られる」という二極化相場の様相を呈している昨今の米国にて、バリュー投資家は苦戦を強いられています。

2019年、肩身の狭い思いをしていたコントラリアンの歓喜する出来事が起きました。ロジャー・イボットソン教授のチームによって「人気資産価格モデル（PAPM: Popularity Asset Pricing Model）」が発表されたのです。

私自身もグーグル翻訳の助けを借りながら、この人気資産価格モデルのペーパーをざっと読んで、改めて「人気株を避け、不人気株を買う」バリュー投資の有効性を再認識させられました。

今月号の資産運用レポートでは、今、もっともホットな投資理論である人気資産価格モデルを取り上げます。



人気資産価格モデルのペーパーは無料でダウンロードできます。英語のできる方は読んでみてください。

https://papers.ssrn.com/sol3/papers.cfm?abstract_id=3474546